

図面製本の作成要領

- 1, 製本方法や表紙の仕様(材質や色等)は下記を基に監督員との協議により決定する。
- 2, 日付は和暦で記載する。
- 3, 設計者と工事監理者が同じ場合は、設計・監理を併せて「(設計監理)」とする。
- 4, 設計図の場合は、「竣工図」を「設計図」に読み替える。なお、背表紙の完成日の記載は不要とする。
- 5, 複数社で合冊製本する場合は、工事名と施行者名の順番を合わせること。
- 6, パース(外観、内観共)がある場合は、建築図面の最初のページに挿入すること。
- 7, 計画通知等の指摘により図面の修正・追加等がある場合は、それらを反映した図面で製本すること。また、図面の修正・追加等の内容がわかる一覧表をパースの次ページに挿入し、表紙には「設計図」の下段に「(計画通知等の指摘内容対応後)」と記載する。
- 8, 原則として製本の厚みは竣工図では30mm程度、設計図では40mm程度を上限とし、それ以上となる場合は分冊とする。

[竣工図] ※製品名はすべて参考とし同等品とする。

観音製本

材質：黒表紙(ハードカバー) 文字：太字明朝体(金文字箔押し)

材質：レザック66(ライトグレー, 厚み 0.21mm, PP加工) 文字：太字明朝体(黒文字)

※監督員から指示がある場合は指定色とする。

[設計図] ※製品名はすべて参考とし同等品とする。

観音製本

材質：レザック66(指定色, 厚み 0.21mm) 文字：太字明朝体(黒文字)

材質：ダイヤボード(指定色, 厚み 0.23mm) 文字：太字明朝体(黒文字)

設計図表紙の指定色 レザック66の場合(案)

作成区分 工種		単独製本	合冊製本(部分合冊を含む)			
			A・E・M・O	A・S・O	全て	
A		ミルク	ミルク	ミルク 注1	建設地域や施設の シンボルカラーの 近似色 ※特にない場合はミルクとする。	
S	E	もも	もも	レモン 注1		
	M	MA	ライトグリーン			スカイ
		MP	あおたけ			
O		らくだ	らくだ	らくだ 注1		

※工種は次の通り。A：建築、E：電気設備、MA：空調設備、MP：給排水衛生設備、S：設備、M：機械設備、O：外構

注1, 監督員との協議により、いずれかの工種の表紙を建設地域や施設のシンボルカラーの近似色としてもよい。

単独で製本する場合の例

〇〇庁舎建設工事(建築)

竣工図

着工 〇〇 00年 1月 1日
完成 〇〇 00年 12月 31日

(主管課) 白山市〇〇部〇〇課
(監修) 白山市建設部営繕課
(設計) 〇〇設計株式会社
(監理) 〇〇設計株式会社
(施工者) 〇〇建設株式会社

〇〇庁舎建設工事(建築)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

前

背

複数社で合冊製本する場合の例(1)
(各社の工期が同一)

〇〇庁舎建設工事
(建築)(電気設備)(給排水衛生設備)(空調設備)

竣工図

着工 〇〇 00年 1月 1日
完成 〇〇 00年 12月 31日

(主管課)白山市〇〇部〇〇課
(監修)白山市建設部営繕課
(設計)〇〇設計株式会社
(監理)〇〇設計株式会社
(施工者)〇〇建設株式会社
〇〇電気工事株式会社
〇〇設備株式会社
〇〇管工事株式会社

〇〇庁舎建設工事
(建築)
(電気設備)
(給排水衛生設備)
(空調設備)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

前

背

複数社で合冊製本する場合の例(2)
(各社の工期が相違)

〇〇庁舎建設工事
(建築)(電気設備)(給排水衛生設備)(空調設備)

竣工図

(主管課)白山市〇〇部〇〇課
(監修)白山市建設部営繕課
(設計)〇〇設計株式会社
(監理)〇〇設計株式会社
(施工者)〇〇建設株式会社
〇〇電気工事株式会社
〇〇設備株式会社
〇〇管工事株式会社

〇〇庁舎建設工事
(建築)
(電気設備)
(給排水衛生設備)
(空調設備)

竣工図

完成 〇〇 00年 12月 31日

前

背

〇〇 建設工事

計画通知等の指摘による修正・追加等の項目一覧表 (元号〇年〇月〇日時点)

番号	種別	図番	変更内容
1	建築	A-10,22,23,24	修正 建物最高高さ修正 (9.985m → 9.990m)
2		A-10	修正 案内図差し替え (白地図 → Googleマップ)
3		A-10	追加 住所表示に「ほか5筆」追加
4		A-10,200	追加 敷地内の避難動線追加
5		A-10、11	修正 敷地面積修正 (1443.99㎡ → 1443.975㎡)
6		A-10	追加 道路中心レベル追加
7		A-10	修正 道路斜線制限チェックの計算修正
8		A-13	修正 1階の階段下倉庫の床面積修正 (6.81㎡ → 6.77㎡)
9		A-13,202	修正 床面積に庇下の車路部・駐輪場部を追加 (1階床面積432.00㎡ → 453.53㎡、延床面積864.00㎡ → 885.53㎡)
10		A-13	修正 容積率算定修正 (容積率算定用床面積 854.74㎡ → 718.18㎡、容積率60% → 50.00%)
11		A-13	修正 建築面積の表記修正 (1階(2階)) 床面積 → 27.000×16.000)
12		A-13	修正 建築率計算修正 (33% → 32.82%)
13		A-14	追加 耐火構造の認定番号、CD登載の有無追加
14		A-14	修正 壁種リストに耐火構造壁の仕様及び認定番号追加、GL工法壁は削除
15		A-14	追加 不燃材料に(不燃)の表記を追加
16		A-15	追加 ビロティ部分の仕上げ追加
17		A-15	追加 各部屋の防火区画・排煙・内装制限の適用法令追加
18		A-15	追加 不燃材料の大臣認定番号、CD登載の有無を追加
19		A-15,18,26	修正 室名修正 (多目的WC → BFWC)
20		A-17	追加 南側道路の関係法規を追加
21		A-17,25,200	変更 ビロティ下の点字タイル位置、植栽範囲変更
22		A-18	追加 断面図の切断位置追加
23		A-18,26	追加 屋外階段に点字タイル追加
24		A-18	追加 庇の出寸法追加
25		A-18	追加 娯楽室の廊下側柱の横を「用途なし」のスペースとする
26		A-19,37,202	追加 SD4、AD3に排煙窓追加
27		A-21	修正 大会議室の符号修正 (E → B)、(リストからE削除)
28		A-22	修正 大会議室の壁の仕様修正 (片面石膏ボードt12.5貼り → 石膏ボード t12.5両面貼り)
29		A-22,23,24,200	追加 1階階の段下倉庫・倉庫に114条区画追加
30		A-22,23,24	修正 114条区画の間仕切りをスラブ下まで立上げとする
31		A-25,26	修正 114条区画となる間仕切り壁の壁種符号修正
32		A-25,26	追加 サイン図の設置位置追加

番号	種別	図番	変更内容
33	建築	A-26	修正 階段の点字タイルの設置位置修正 (段鼻から200mm → 300mm)
34		A-37	修正 LSD1の高さ修正 (2000mm → 1600mm)
35		A-38	修正 SLW2の下地材修正 (木枠中質繊維版 → 石膏ボード(不燃))
36		A-101	修正 バリアフリートイレのサインおよび、JIS規格に対応している旨を追加
37		A-102	修正 総合案内サインのバリアフリートイレ表記修正
38		A-103	追加 特記仕様のアナウンス内容追加
39		A-200,201	追加 排煙免除の室の表記追加
40		A-200	修正 歩行距離修正 (ビロティ下の避難経路)
41		A-200	追加 令125条第1項の出口追加
42		A-200,202	修正 ビロティ・駐輪場に面する窓を排煙窓から除外
43		A-202	修正 換気計算修正 (ビロティ下以外を 自然換気 → 機械換気)
44		A-202	修正 採光の制限修正 (2階の室を 1/10 → 1/7)
45		A-202	追加 娯楽室・大会議室をスライディングウォールで区切った際の、各室のALVS計算追加
46		A-202	修正 各室の排煙免除の適用法令修正
47		A-202	修正 消防有無窓判定計算修正
48	構造	S-16	修正 排煙窓追加箇所の開口修正
49	電気設備	E-05,06,12,15,17,18, 19,20,21,22,25,26,27, 28,30,31,33,34	追加 114条区画間仕切り貫通部区画処理を追記
50		E-35	追加 防火区画貫通処理図追加
51		E-19,20	追加 ビロティに非常灯2台追加、点滅型誘導灯用煙感知器追加 (1階:1台、2階:2台)
52	機械設備	M-02	追加 防火区画貫通要領図追加
53		MA-02,03,05,06,08,09 MP-04,05,08,09,11	追加 延焼ライン、114条区画間仕切り、貫通部区画処理部を図示
54		MA-05,06	追加 114条区画間仕切りに伴い必要なFDの追加
55		MA-06	修正 延焼ラインに係わるベントキャップ(13箇所)をFD付に修正